



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2023/10/10
SDS整理番号 13302250

製品等のコード : 1330-2250

製品等の名称 : 水銀

推奨用途 : 試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)
乾電池、水銀塩類(昇汞、銀朱など)、蛍光灯、合成化学用(触媒)、
体温計及び計量器電気機器用、アマルガム(歯科用、合金用)、カ性ソーダ、
塩素電解用など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



Hg

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分に該当しない
自然発火性液体 : 区分に該当しない
自己発熱性化学品 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(吸入:蒸気) : 区分1
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激 : 区分2A
皮膚感作性 : 区分1
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(呼吸器系、心血管系、腎臓、肝臓、
中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(神経系、心血管系、血液、肝臓、歯肉)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

吸入すると生命に危険(蒸気)
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器系、心血管系、腎臓、肝臓、中枢神経系の障害
長期又は反復ばく露による神経系、心血管系、血液、肝臓、歯肉の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
蒸気などを吸入しないこと。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露した場合：医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察、手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い場所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	化学物質
化学名	:	水銀 (別名) クイックシルバー、クエックシルバー、みずがね、汞 (英名) Mercury (EC名称、TSCA名称)、 Quecksilber、Quicksilver
成分及び含有量	:	水銀、 99.0%以上
化学式又は構造式	:	Hg
分子量	:	200.59
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	:	元素のため対象外
CAS No.	:	7439-97-6
EC No.	:	231-106-7
TSCA	:	TSCA名称; Mercury SNUR名称; Elemental mercury 40 CFR part 721 Subpart E; 10068
危険有害成分	:	水銀

4. 応急措置

吸入した場合	:	直ちに医師に連絡する。 直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 被災者を毛布等でおおって体を保温し、呼吸しやすい姿勢で安静にする。 速やかに医師の診断、治療を受ける。 呼吸して嘔吐がある時は、頭を横向きにする。 呼吸が止まっている場合、または呼吸が弱い場合には衣服を緩め、呼吸 気道を確保した上で人工呼吸(または酸素吸入)を行なう。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激または発疹が生じた時は、医師の手当を受ける。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	:	直ちに、流水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを 着用していて容易に外せる場合には外して洗うこと。洗浄を続ける。 まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの 隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合	:	直ちに医師に連絡する。 速やかに、口をすすぎ、うがいをする。 牛乳、卵白を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。

意識がない時は、何も与えない。もし、嘔吐が自然に生じた時は、気管への吸入が起きないように、頭を尻より下に身体を傾斜させ、肺への還流を防ぐ。嘔吐後、意識が戻れば、水を飲ませる。体の保温に努め、速やかに医師の診察を受ける。
気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：

吸入：腹痛、咳、下痢、息切れ、嘔吐、発熱又は体温上昇。
頭痛、全身倦怠、食欲不振、口内炎、流涎、血尿、蛋白尿、血性下痢。
気中水銀濃度が高いと、腎障害、化学性肺炎をおこす。
皮膚：皮膚から吸収される可能性あり。
発赤、皮膚炎、アレルギー反応。
眼：情報なし
経口摂取：「吸入」の項を参照。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：この製品自体は燃焼しない。
消火剤の限定はない。
周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水など
- 使ってはならない消火剤：棒状放水（本品があふれ出し、生物への有害性、環境汚染を拡大するおそれがある。）
- 特有の危険有害性：火災中に酸化又は熱分解し、刺激性又は毒性のガス、ヒュームを発生する可能性がある。
- 特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護：有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
風上から作業し、蒸気、ガス、ミストなどを吸入しない。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項
回収、中和：河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
水銀専門業者（例：野村興産）に依頼し、水銀専用の掃除機で吸引回収し、廃棄処分を依頼する。
可能であれば、漏洩した液状の水銀をちり取り等に流し入れ、密閉できる空容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
：危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策
：事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
ミスト、蒸気、ガス、粉じんなどの発生を防止する。
- 局所排気・全体換気：作業場には囲い式フードの局所排気装置またはプッシュプル型換気装置を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気を使用しなければ取扱ってはならない。
- 安全取扱い注意事項：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
接触、吸入又は飲み込まない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
- 接触回避：湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管
技術的対策：保管場所は耐火構造とし、出入口は施錠する。
保管場所は、採光と換気装置を設置する。
- 保管条件：直射日光や高温を避けて保管する。

	容器を密閉して換気の良い所に保管する。 一定の場所を定め、施錠して保管する。 貯蔵する所には、赤地に白文字で「医薬用外毒物」の表示を行う。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質	: アジ化物、アセチレン、アンモニア、金属ナトリウム
容器包装材料	: ガラス、ステンレスなど

<参考> 容器包装材料の室温における耐薬品性（あくまでも目安、保証不可、実用試験確認必要）

【 :良好 :やや良好(条件による) :やや不良 x:不良 -:データなし 】

スチレンゴム	クロロプレンゴム(ネオプレン)	ニトリルゴム	ブチルゴム
天然ゴム	シリコンゴム	フッ素ゴム(バイトン、ダイエル)	テフロン
軟鋼	ステンレス(SUS304)	SUS316	チタン
軟質塩ビ	硬質塩ビ	ポリスチレン	A B S
ナイロン	アセタール樹脂	アクリル樹脂	ポリカーボネート
			ガラス
			アルミニウム×銅
			ポリエチレン
			ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 0.025mg/m ³ (Hg)
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産衛学会	0.025mg/m ³ (Hg蒸気として)
ACGIH	TLV-TWA 0.025mg/m ³ 皮膚吸収あり (Hg)
設備対策	: 作業場には囲い式フードの局所排気装置またはプッシュプル型換気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(防毒マスク、送気マスク又は空気呼吸器等)を着用する。
手の保護具	: 保護手袋(塩化ビニル製、ニトリル製など)を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 作業衣を家に持ち帰ってはならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	: 重い液体。常温で徐々に揮散
色	: 光輝のある銀白色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: -39
凝固点	: データなし
沸点	: 357
引火点	: データなし
可燃性	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: 0.3 Pa (25)
相対ガス密度(空気 = 1)	: 6.93
20 での蒸気/空気混合	
気体の相対密度(空気 = 1)	: 1.009
密度又は相対密度	: 約13.6 g/cm ³ (25)
比重	: データなし
溶解度	: 水にほとんど溶けない(0.06mg/L、20)。 塩酸にほとんど溶けない。 硝酸に溶ける。 エタノール、ジエチルエーテル、ヘキサン、ペンタンにほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数	: log Kow = 0.62
発火点	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: 1.526 mPa・s (=1.526 cP) (25)、 1.402 mPa・s (50)
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし

GHS分類	
引火性液体	: 本品は不燃性（ホンメル（1996））であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性液体	: 本品は不燃性（ホンメル（1996））であることから、区分に該当しないとした。
自己発熱性化学品	: 本品は不燃性（ホンメル（1996））であることから、区分に該当しないとした。
水反応可燃性化学品	: 金属（Hg）であるが、水溶解度 0.06mg/L（SRC Phys Prop（2011））というデータがあり、水と急激な反応をしないと考えられることから、区分に該当しないとした。

10. 安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）

	: 通常の取扱条件において安定である。 常温で徐々に揮散する。
危険有害反応可能性	: アセチレン、アンモニアと反応して爆発性のある水銀アセチリドや水銀と窒素の化合物を生ずる。 ハロゲンと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 銅やアルミニウム他多くの金属を侵し、アマルガムを生成する。
避けるべき条件	: 高温、日光
混触危険物質	: アジ化物、アセチレン、アンモニア、塩素、ニトロメタン、過酸化、クロロベンゼン、酸化エチレン、金属ナトリウム
危険有害な分解生成物	: 火災時に有毒な水銀フュームやガスを放出する。 沸点近くで長時間加熱するとHg0を生成する。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 分類できない。 経皮 分類できない。 吸入（蒸気） ラットに0.027 mg/Lの濃度の水銀蒸気を2時間のばく露（4時間換算値: 0.019 mg/L）により32匹中20匹死亡との結果（CICAD 50（2003））から、LC50値は0.019 mg/L/4h以下となり、区分1に相当する。 吸入すると生命に危険（蒸気）（区分1） 吸入（粉じん） 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性	: 眼刺激性: 高濃度の水銀蒸気への暴露により、眼の充血や灼熱感ならびに結膜炎が観察されている（CICAD(J)（2005）、ATSDR（1999））との報告に基づき、区分2Aとした。 強い眼刺激（区分2A）
呼吸器感受性	: 分類できない。
皮膚感受性	: 日本産業衛生学会により感受性物質として皮膚: 第1群に分類されている（産衛誌53巻（2011））ことから、区分1とした。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ（区分1）
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 区分に該当しない。 IARCの発がん性評価でグループ3（IARC 58（1993））、さらにACGIHではA4、EPAではDに分類されている。
生殖毒性	: ヒトで水銀蒸気のばく露による生殖への影響について複数の疫学調査の報告がある。職業的にばく露された女性歯科医師らを対象とした調査では、非曝露のコントロール群に比べて頭髪中の総水銀濃度は高く、自然流産、死産、先天異常（二分脊椎）等の異常もコントロールよりも多かった（産衛誌第40巻（1998））との報告、また、作業環境で水銀元素蒸気に暴露した女性349人を調べた研究で、215人の非曝露コントロールに比較し、妊娠合併症（中毒症、流産、遅延分娩、分娩時の大量出血）が多数みられた（CICAD(J)（2005））との報告など、水銀のばく露による女性の生殖に及ぼす悪影響が報告されていることに基づき、区分1Aとした。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（区分1A）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: ヒトで高濃度水銀蒸気の急性ばく露により、呼吸器系の障害（気管支・細気管支炎、間質性肺炎、呼吸困難）および尿管障害などを認め、重篤な場合は呼吸不全や腎不全で死亡することもある（産衛誌第40巻（1998））との記述に加え、高濃度水銀蒸気の短期ばく露の結果、タンパク尿、血尿、乏尿、さらに急性腎不全に至る一連の影響が近位尿管の変性または壊死を伴ってみられた（CICAD(J)（2005））との報告もあり、区分1（呼吸器系、腎臓）とした。 また、ヒトで高濃度の金属水銀を急性吸入ばく露後に心拍数と血圧の増加（ATSDR（1999））が報告され、一方、ウサギに0.0288 mg/m3の濃度

- を2～30 時間ばく露（ガイダンス値区分1相当濃度）により、心組織の壊死を伴った著しい細胞変性がみられた（CICAD(J) (2003)）との報告により、区分1（心血管系）とし、さらに金属水銀の蒸気ばく露に対し中枢神経系がおそらく最も鋭敏な標的臓器である（CICAD 50 (2003)）と述べられ、ウサギに0.0288 mg/m³の濃度を2～30 時間ばく露（ガイダンス値区分1相当濃度）し、脳に顕著な細胞変性と広範囲の壊死がみられた（CICAD (J) (2003)）との報告により、区分1（中枢神経系）とした。
- 一方、幼児が水銀蒸気の吸入で急性中毒に陥り、ALTや血清ビリルビンの上昇など肝細胞への影響がみられたとの報告に加え、男性1人が水銀蒸気への短期、高濃度ばく露により死亡し、剖検で肝腫大および小葉中心性空胞化が認められた症例（CICAD(J) (2005)）が報告されており区分1（肝臓）とした。
- 以上より、本項の分類としては区分1（呼吸器系、心血管系、腎臓、肝臓、中枢神経系）となる。
- 呼吸器系、心血管系、腎臓、肝臓、中枢神経系の障害（区分1）
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：
 ヒトの慢性ばく露で濃度が高い場合には、振戦や行動・性格の変化が認められ、口腔内にも歯痛などの自覚症状を始め、歯根炎や唾液分泌過剰が起きる（産衛誌第40巻（1998））。また、工場で一定年数働いていた労働者が職業ばく露により、振戦、めまい、不安定歩行、鈍いメンタルレスポンス、歯肉炎、歯肉痛などの症状を示した（CICAD(J) (2005)）こと、クロールアルカリ工場の作業員で神経伝導速度の異常、衰弱、感覚異常、筋けいれんなどの症状が報告されている（CICAD(J) (2005)）ことから、区分1（神経系、歯肉）とした。
- また、家庭での水銀元素の漏出により、水銀蒸気に6 ヶ月間ばく露された12 歳の少女に白血球数の増加が観察され、また、家庭での水銀蒸気にはく露した別の事例では、家族4 人のうち2人に頻発する鼻血と血小板減少がみられた（CICAD(J) (2005)）との報告により、区分1（血液）とした。
- さらに、少なくとも5年間水銀蒸気の職業ばく露された労働者での心悸亢進と僅かな心血管反射の低下、別の工場労働者では高血圧の頻度増加、虚血性、脳血管性障害による死亡の可能性の増大が報告されている（ATSDR (1999)）ことから、区分1（心血管系）とした。
- 一方、ウサギに12週間吸入ばく露（0.86～6 mg/m³、ばく露期間：7 hrs/day）により、肝臓で病理学的変化が中等度の変化から顕著な細胞変性に至るまでみられ、壊死が生じた（CICAD 50 (2003)）との結果に基づき、ばく露濃度はガイダンス値区分1の範囲にあることから区分1（肝臓）とした。
- 以上より、本項の分類は区分1（神経系、心血管系、血液、肝臓、歯肉）となる。
- なお、腎臓については反復ばく露による悪影響を示すデータは見出せず、標的臓器として採用しなかった。
- 長期又は反復ばく露による神経系、心血管系、血液、肝臓、歯肉の障害（区分1）
- 誤えん有害性：分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)：甲殻類（ブラインシュリンプ）96時間LC50 = 0.006 mg/L (AQUIRE, 2011)

水生環境有害性 長期(慢性)：水生生物に非常に強い毒性（区分1）
 金属であり水中での挙動が不明であり、藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）72時間EC10 = 0.001 mg/L (AQUIRE, 2012)であることから、区分1とした。
 長期的影響によって水生生物に非常に強い毒性（区分1）

残留性・分解性：データなし
 生物蓄積性：データなし
 土壤中の移動性：データなし
 オゾン層への有害性：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者（例：野村興産）に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 本品は、特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 172

国際規制

海上規制情報 (IMDGコードの規定に従う)

UN No. : 2809
 Proper Shipping Name : MERCURY
 Class : 8 (腐食性物質)
 Sub risk : 6.1 (毒物)
 Packing Group : III
 Marine Pollutant : Yes (該当)
 Limited Quantity : 5kg

航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. : 2809
 Proper Shipping Name : Mercury
 Class : 8
 Sub risk : 6.1
 Packing Group : III

国内規制

陸上規制情報 (毒物劇物取締法、道路法の規定に従う。)

海上規制情報 (船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)

国連番号 : 2809
 品名 : 水銀 (機械類、日用品等に含まれる水銀であって、質量1kg以下のものを除く。)

クラス : 8
 副次危険 : 6.1
 容器等級 : III
 海洋汚染物質 : 該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当

少量危険物許容量 : 5kg

航空規制情報 (航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)

国連番号 : 2809
 品名 : 水銀 (機械類、日用品等に含まれる水銀であって、質量1kg以下のものを除く。)

クラス : 8
 副次危険等級 : 6.1
 III

少量輸送許容物件許容量 : -

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。
 車輛等による運搬の際にはイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 (政令番号 第315号「水銀及びその無機化合物」、対象重量%は 0.3)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (政令番号 第315号「水銀及びその無機化合物」、対象重量%は 0.1)
 (別表第9)
 特定化学物質等 第2類物質、管理第2類物質
 (特定化学物質等障害予防規則、第2条)
 作業環境評価基準

労働基準法	: 疾病化学物質 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: ・種別 「第1種指定化学物質」 ・政令番号 「1-272」〔ただし、R5年3月31日まで「1-237」〕 ・管理番号 「237」 ・物質名称 「水銀及びその化合物」
毒物及び劇物取締法	: 毒物「水銀」、包装等級
消防法	: 消防活動阻害物質 政令第1条の10「届出を要する物質」30kg
船舶安全法	: 腐しよく性物質
航空法	: 腐食性物質
水質汚濁防止法	: 有害物質 (施行令第2条) 「水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物」 〔排水基準〕0.005mg/L(Hg), 不検出(アルキル水銀化合物)
土壌汚染対策法	: 第2種特定有害物質 (法第2条第1項、施行令第1条) 「水銀及びその化合物」 〔溶出量基準値〕0.0005mg/L(Hg), 不検出(アルキル水銀化合物) 〔含有量基準値〕15mg/kg(Hg)
大気汚染対策法	: 有害大気汚染物質 / 優先取組 (政令番号: 中環審答申の108) 「水銀及びその化合物」
輸出貿易管理令	: 輸出承認品目 (別表第2の35-3-1) ロッテルダム条約附属書 上欄に掲げる化学物質 「水銀化合物」 キャッチオール規制 (別表第1の16) HSコード: 2805.40 第28類 無機化学品 ・輸出統計番号 (2023年4月版): 2805.40-000 「アルカリ金属及びアルカリ土類金属並びに希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (これらの相互の混合物又は合金にしてあるかないかを問わない。) 並びに水銀 - 水銀」 ・輸入統計番号 (2023年4月1日版): 2805.40-000 「アルカリ金属及びアルカリ土類金属並びに希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (これらの相互の混合物又は合金にしてあるかないかを問わない。) 並びに水銀 - 水銀」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

取扱注意事項:

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱う者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

参考文献:

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じて作成しています。